

令和6年度 浜田市学校図書館活用教育研究指定校事業研究推進計画書

1 研究校

学 校 名	浜田市立第二中学校
学 校 長 氏 名	羽柴 千晴
研究推進担当者	遠藤 由紀

2 研究テーマ

本校生徒は落ち着いて真面目に授業に取り組むことができるが、自分の考えを自信をもって表現しようとするに課題がある。多種多様な情報を自分の考えをつくる時の根拠とすることができれば、自分の考えを自信を持って表現しようとする生徒を育成できると考える。そこで、多種多様な情報を集めることができる学校図書館の機能を活用した学習活動を授業改善に取り入れる。

*自校の児童の実態、本事業の趣旨を踏まえること。

3 研究内容

次の仮説を立て研究を進める。

- 要約学習を取り入れ、多くの情報を正しくとらえ、それをもとに自分の考えをつくるのが可能になれば、生徒は自分の意見の根拠を自信をもって述べるようになるようになり意欲が高まるのではないか。
- 学校図書館の機能を活用した授業を年間通じて取り入れることで、情報の扱いに慣れ、生徒はさまざまな情報から自分の考えを表現しようとするようになるのではないか。

*浜田市教育委員会が提案する授業改善の重点等を踏まえ、より焦点化した内容とすること。

*継続校は、昨年度の実績を踏まえること。

月	予定	月	予定
4月		10月	
5月	計画立案	11月	授業公開・研究協議
6月	要約学習研修	12月	
7月		1月	要約学習研修
8月		2月	
9月	授業公開・研究協議	3月	実践のまとめ

*推進計画には、2回以上の公開授業を位置付けること。

5 実践に対する評価計画

3月の実践のまとめでは以下の項目を含めて実践を評価する。

- ・学校図書館や図書資料を使った授業が増加したか。
- ・要約学習を取り入れたことが授業改善につながったか。
- ・県学力調査において無解答率が下がったか。

*数値的な評価項目を一つは設定すること。

